

**令和3年度進行管理・評価シート**  
**高岡市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月5日認定）**  
**（最終変更令和4年3月29日）**

**口進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)(第3章関係)		
1 計画の実施と推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)(第4章関係)		
1 都市計画法の活用	.....	2
2 景観計画の活用	.....	3
3 屋外広告物に関する規制	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)(第6章関係)		
1 高岡御車山保存修理事業	.....	5
2 菅笠保全対策事業	.....	6
3 次世代型ものづくり人材育成事業	.....	7
4 創業・事業承継支援補助事業(旧次世代クリエイター工房開設支援事業)	.....	8
5 文化財等修理補助事業	.....	9
6 菅栽培調査事業	.....	10
7 ものづくり・デザイン科推進事業	.....	11
8 祭行事・イベント振興事業	.....	12
9 コミュニティ助成事業	.....	13
10 前田利長墓所整備事業	.....	14
11 市内町家等再生事業	.....	15
12 金屋鋳物師町交流館整備事業	.....	16
13 高岡城跡保存整備事業	.....	17
14 勝興寺公開活用事業	.....	18
15 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	.....	19
16 県道岡・笹川線道路整備事業	.....	20
17 勝興寺寺内町道路修景整備事業	.....	21
18 町並み保存・都市景観形成補助事業	.....	22
19 「赤レンガ建物」利活用事業	.....	23
20 前田家関連史跡調査事業	.....	24
21 ミラレ金屋町開催事業(旧金屋町楽市開催事業)	.....	25
22 獅子舞大競演会開催事業	.....	26
23 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	.....	27
24 「高岡再発見」プログラム事業	.....	28
25 新たな芸術・文化創造推進事業	.....	29
26 日本遺産魅力発信推進事業	.....	30
27 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業	.....	31
28 万葉歴史館展示室魅力向上事業	.....	32
29 越中国府関連遺跡調査事業	.....	33
30 ストリート整備事業	.....	34
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)(第5章関係)		
1 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画	.....	35
2 文化財の修理(整備)に関する具体的な計画	.....	36
3 文化財の保存・活用を行うための施設に関する具体的な計画	.....	37
4 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画	.....	38
5 文化財の防災に関する具体的な計画	.....	39
6 文化財の普及・啓発に関する具体的な計画	.....	40
7 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画	.....	41
8 各種団体の状況及び今後の体制整備の具体的な計画	.....	42
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 効果・影響等に関する報道	.....	43

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	44
-------------------------	-------	----

評価軸① 組織体制		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
<b>1 計画の実施と推進体制</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市創造部次長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。 【定量的評価】 協議会1回開催、推進会議1回開催、幹事会2回開催 【定性的評価】 協議会を通して各専門分野の方々の意見を得られたので今後も本市の歴史的風致のより一層の向上に繋がられるように努めていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○高岡市歴史まちづくり協議会 ・第16回(令和4年2月17日開催)			
○高岡市歴史まちづくり推進会議 ・第19回(令和4年2月2日開催)			
○高岡市歴史まちづくり推進会議幹事会 ・第29回(令和3年11月17日開催) ・第30回(令和4年1月13日開催)			
		第16回高岡市歴史まちづくり協議会	
		第19回高岡市歴史まちづくり推進会議	

評価軸②-1  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況

**1 都市計画法の活用**

計画に記載している内容

重点区域における景観計画の推進や市民意識の高揚に従い、より明確にかつ強制力のある景観形成を図る必要があると認める場合は、高度地区や景観地区等の活用も検討していく。  
山町筋重要伝統的建造物群保存地区、金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。  
その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

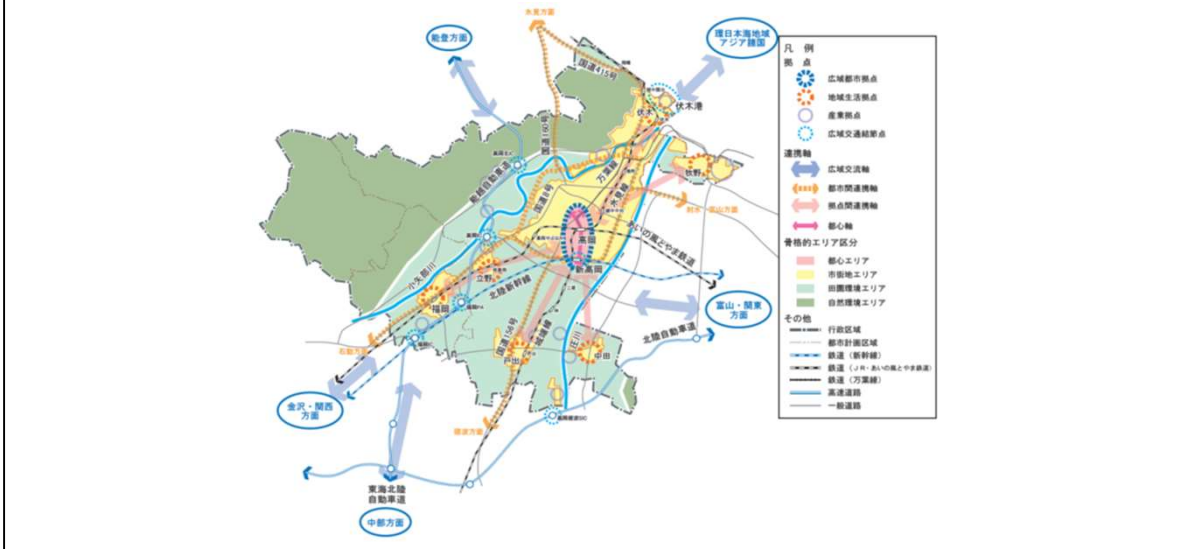
都市計画マスタープランでは都市づくりの基本方針の一つとして「歴史・文化と自然を活かした都市づくり」を掲げている。太田地区では、武田家住宅や国泰寺などの歴史資産を保全・活用する。「歴史まちづくり計画」において重点地区に位置付けてた伏木地区では、勝興寺などの文化財の保存修理事業、勝興寺寺内町旧参道における道路修景整備事業の推進や建築物の景観誘導への支援を進めるとともに、勝興寺風致地区の運用、景観計画に基づく規制誘導や屋外広告物の規制強化等も検討し、歴史的風致の維持・向上を図る。また、「歴史まちづくり計画」の重点区域に位置付けた、山町筋、金屋町、吉久地区瑞龍寺周辺、及び立野地区等の旧北陸道沿いにおいては、居住を維持・誘導するほか、町家や空き家・空き店舗を工房、店舗、ゲストハウスなどにリノベーションするなど、文化財の保全・活用を促進する。景観計画に基づく規制誘導や屋外広告物の規制強化等も検討し、歴史的風致の維持・向上を図る。  
都市計画マスタープランと併せて景観計画や屋外広告物の規制と連携して調和の取れた修景に取り組んでいる。

進捗状況 ※計画年次との対応

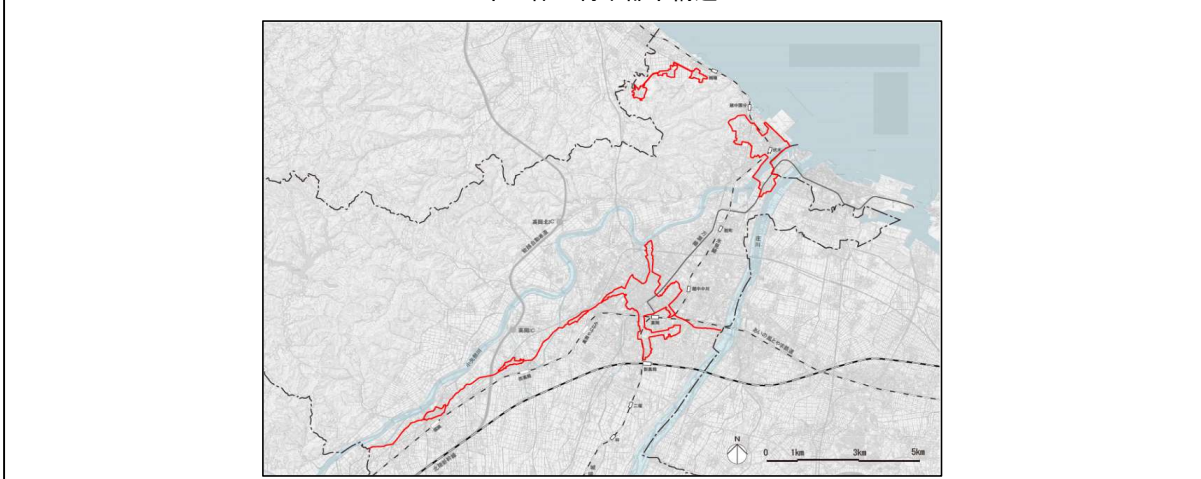
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



市全体の将来都市構造



歴史まちづくり計画の重点区域

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
2 景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観法に基づく届出件数

令和元年度:31件

令和2年度:41件

令和3年度:55件

近年、届出件数は増加傾向にあり、周辺環境との調和が図られた良好な景観形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

景観形成重点地区(旧北陸街道福岡)の修景事例



修景前



修景後

当該重点地区の景観づくりの基準に基づき、屋根工事(和瓦)や大和塀設置を市の補助金を活用して実施した。

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
<b>3 屋外広告物に関する規制</b>	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行ったほか、違反広告物の是正を図っている。

- ・既存不適格是正実績(直近3年)  
 令和元年度:12件、令和2年度:30件、令和3年度:10件

既存不適格の屋外広告物の是正により、歴史的な町並みの保全及び良好な景観の形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存不適格広告物の是正が順調に進んでいる。是正が完了していない企業に対しては、引き続き、是正計画書を提出させる等して是正指導の強化を図りたい。
--	---

状況を示す写真や資料等

既存不適格広告物の是正事例  
(屋上広告の除却)



是正前

▶



是正後

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
<b>1 高岡御車山保存修理事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(重要有形民俗文化財修理・防災事業費国庫補助)		
計画に記載している内容	重要有形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価: 重要有形民俗文化財「高岡御車山」の修理によって地域の独自性の向上等に寄与した。			
令和3年度			
①通町御車山鉾留の修理…構造部材の劣化が判明し、修理方針を再検討することとした。			
②御馬出町御車山高欄の修理…構造部材の劣化を受け、状況の確認及び修理方針の決定を行った。			
③御馬出町御車山車輪の修理…右前輪の現状確認及び修理(鉄の補強部材溶接)を行った。			
④御馬出町御車山幔幕の修理…幔幕(乳紐)の修理を行った。			
⑤二番町御車山鉾留の修理…古材の状況確認を行い、新調する方針決定を行った。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
【御馬出町】車輪修理の様子			
			
【御馬出町】幔幕修理の様子			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
2 菅笠保全対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業 国宝重要文化財等保存・活用事業(H30～R5)
計画に記載している内容	重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠製作技術は、菅栽培や製作技術者が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けて菅保全対策事業を実施するもの。 菅笠づくりの後継者育成指導や研修、菅田保全のための調査を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市支援実績

- ・菅笠製作技術後継者育成(技術習得のため育成活動団体と協力して実施)
- ・菅笠展示・実演(イベントでの周知普及の実施及び団体への支援)
- ・菅笠保全活動団体との連携事業(体験講座の実施及び団体への支援)
- ⇒新型コロナによる影響で、計画通りに実施できなかった。コロナ禍でも実施可能な事業を模索していきたい。
- ・菅田保全のための調査(菅田の現況把握等)
- ⇒年々減少傾向にある。データを蓄積するため、調査を継続していきたい。
- 現状維持を目標としてスゲ生産組合等とも連携し対策していきたい。
- ・ブランド化等事業(新しい菅笠の提案等実施団体への支援)
- ⇒菅笠振興会、高岡民芸(株)等と連携し、新たな菅笠事業を模索している。

☆カウント対象  
→菅田体験4回(芽かき、刈取、苗取り、植付)  
▲カウント除外  
→ミニ菅笠作り体験(博労公民館)

No.	活動内容	R2		R3		実施団体	備考
		回数	参加者数	回数	参加者数		
1	菅笠講座(笠骨)	20回	6名	17回	7名	H30～高岡市	
2	菅笠講座(笠縫)	20回	10名	20回	8名	H30～高岡市	
3	体験講座	4回	43名	4回	28名	H30～高岡市・越中福岡の菅笠製作技術保存会	

上記支援や活動を通して、越中福岡の菅笠製作技術の周知や、後継者育成を図ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(課題) ・高齢化による技術保持者の減少 (対応策) ・後継者育成講座の充実

状況を示す写真や資料等

後継者育成(笠縫・笠骨講座)



後継者育成(職人育成)



菅田づくり体験



菅田調査



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況

<b>3 次世代型ものづくり人材育成事業</b>	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和43年度～基礎・研究コース、平成12年度～造形コース、平成26年度～3D造形コース、平成30年度～精密鑄造コース
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	伝統工芸産業に関わる人材に対して、伝統的工芸技術から最先端の3D技術を活用した幅広い技術習得を目的としたスクール事業を実施する。金工、漆工に関わる伝統工芸技術(彫金、鑄造、塗り、青貝、蒔絵など)及び3Dプリンターによる立体造形技術の習得を目指す。伝統技術と先端技術の融合による新たな人材育成につなげることで、新商品・新技術の開発の活性化に結び付け、伝統工芸産業の高度化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は全9コースにおいて計44名の受講生12名の講師・助手による指導のもと技術習得に励んだ。昭和43年から実施しており、平成29年度末に50周年を迎えた。高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施している。

※令和3年度は、6月から開講したが、コロナウイルス感染拡大の影響により、8～9月にかけて1か月間休講した。令和2年度から実施したきゅう漆コースは、コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度に跨いで実施した。3D造形コースについては、オンライン化等の検討をするため、開講しなかった。(次年度に機器の入替を予定)

<内容>

【木曜夜間 午後6～9時】

- ・金工: 彫金 ・彫金研究コース(年26回)
- ・漆工: 塗り ・加飾コース ・課題研究コース(年26回)

【第2・4土曜 午後1～5時】

- ・金工: 鑄造コース(年15回) ・精密鑄造コース(年8回)
- ・漆工: きゅう漆コース(年8回) ・変塗コース(年8回)

※平成12年度から実施

<実績> 受講生 計44名: 令和3年度(第27期後期)

- ・金工: 彫金コース 5名 ・彫金研究コース 4名
- ・漆工: 塗りコース 3名 ・加飾コース 6名 課題研究コース 2名
- ・金工: 鑄造コース 8名 ・精密鑄造コース 5名 ・漆工: きゅう漆コース 6名 ・変塗コース 5名

<成果>

- (1) 修了生一延べ 1,174名(昭和43年～令和3年度末)
- (2) 第27期(R2,3年度)は、修了生53名の4割程度が伝統工芸産業の従事者であり、業界の人材育成を図っている。
- (3) 伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者を多数輩出している。第一期生には人間国宝 大澤光民氏が修了している。
- (4) 開講日以外に、講師工房を訪れたり、OB講師から指導を受けるなど更に研鑽を積む生徒もあり、講師・生徒間交流が深まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

**金工**



彫金基礎コース



彫金研究コース



精密鑄造コース



鑄造コース

**漆工**



塗りコース



加飾コース



課題研究コース



きゅう漆コース



変塗コース

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
4 創業・事業承継支援補助事業(旧:次世代クリエイター工房開設支援事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡市内の中小企業者の創業及び事業承継による新たな取り組みを支援し、もって本市ものづくり産業の持続的成長を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ものづくりに関連する業種で創業・事業承継する中小企業又は創業・事業承継から3年以内の中小企業で新たな取り組みを実施する者に対して店舗等の改装費、設備費、原材料費などの費用の2分の1以内で補助金を交付する(上限50万円)。(次世代クリエイター工房開設支援事業については、支援の対象範囲を拡充した本事業に統合されたことに伴い、終了している)。			
令和3年度採択件数:3件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該事業については今年度から、より広い範囲でもものづくり分野を支援できるように対象範囲や対象経費の拡充を行った。		
状況を示す写真や資料等			
			

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
<b>5 文化財等修理補助事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡地域文化財等修理協会に補助し、事務局である(公財)高岡地域地場産業センターと連携を取りながら、高岡御車山をはじめとする文化財の保存修理を図るとともに、高岡伝統技術の次世代への継承を図るもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
職人技の伝承資料を作成し、これらの記録、資料作成等を実施したほか、人材育成事業(視察、研修会への参加)を行うことにより、伝統技術の承継に寄与した。 また、文化財等修理産業創出事業として販路開拓事業(県外へのPR、HP更新等)を行い、令和3年度は重要有形民俗文化財「高岡御車山」等の修理を6件受注することとなり、文化財等修理の産業化に寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(公財)高岡地域地場産業センター内に設置されていた文化財修理工房が、センター移転に伴い令和2年10月に移転リニューアルされた。引き続き新工房における事業を支援していく。		
状況を示す写真や資料等			
		・研修会は、令和3年度も新型コロナウイルスの影響により中止	
・金工の修理作業の様子			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

<p><b>6 菅栽培調査事業</b></p>		<p>■実施済 □実施中 □未着手</p>
-------------------------	--	-------------------------------

事業期間	平成22年度～令和3年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	菅田の栽培に関する肥料対策、病害虫対策、乾燥技術等の試験的調査を実施し、菅田作付面積の増加につなげる。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は昨年度に引き続き、一昨年度作成した菅栽培マニュアルを活用して栽培を実施。天候にも恵まれ、良質な菅が育った。また、作付け面積の拡大を図るため、越中福岡スゲ生産組合が育成した苗をマニュアルとセットで農家等に配布した。長年栽培調査を行った結果を基に作成したマニュアルを有効活用した良質な菅の生産及び作付け面積の拡大への一定の仕組みが構築できたため、下記の課題が残るが、市の事業としては終了する。今後も、課題解決のため、菅笠保全対策事業の継続や越中福岡スゲ生産組合の独自事業として、菅栽培マニュアルの改良や天候不順の年でも安定的な生産技術の確立、小矢部園芸高校への担い手教育の検討、バケツスゲリレーによる菅のPR等を実施し、良質な菅の生産拡大を目指していきたい。

進捗状況 ※計画年次との対応

<p>■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない</p>	<p style="text-align: center;">実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菅栽培マニュアルの改良</li> <li>・天候不順の年でも安定的な生産技術の確立</li> <li>・世界的な肥料不足による生産量への影響</li> <li>・担い手の確保</li> </ul>
---------------------------------------	--

状況を示す写真や資料等

**菅栽培マニュアル**

スゲの栽培管理(2019～2020) No.1

(2019)

① 9月25～26日 苗取り



- ・収穫したスゲの切り株から再生したスゲ苗を機械で苗起こしをした後、苗を取る。
- ・根元が太く新根の出ている良い苗を選ぶ。(1坪当たり50～65株の苗採取可能)

② 9月26～28日 耕起 代かき



- ・青田を耕起し、水を張って代かきをする。
- ・耕起後にスゲ草をかきとる場合もある。

③ 9月28～29日 田植え 水張り



- ・田ころがしを使い、手作業で植える。
- ・冬の積雪でスゲ苗が折れるのを防ぎ、新芽の成長を妨げないよう、苗を45度の角度で斜め植える。深さは10～12cmほどに、スゲ田に水(深水)を張る。

※植えたスゲ苗は、12月ごろに枯れ、根元から新芽が出始めて、積雪期を迎える

**苗代かき⇒植付け状況**



**生育状況**



**天日干し**



評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
7 ものづくり・デザイン科推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の伝統工芸である漆器、銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。 市内小・中・義務教育・特別支援学校の5年生、6年生、中学校1年生を対象に、5年生は年間20時間、6年生は年間25時間、中学校1年生は、年間25時間の授業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見たり触れたり体験したりすることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながっている。 令和3年度は、小学校6年生、中学校1年生で青貝塗りのループタイや彫刻塗りのオルゴール、錫のフォトフレームや小物等の制作に取り組んでいる。5年生は、大学、工芸センター、美術館、伝統工芸師等の地域人材を招聘し、デザイン学習に取り組んでいる。 ・令和4年1月に事業に関するアンケートを児童生徒、保護者等に実施している。楽しんで学習をしている児童生徒が96%、教育的効果があると思う保護者が96%と高い評価を得ている。一方で職人の減少、高齢化の課題も挙げられている。今後は、題材の縮小や講師派遣回数等の縮小を考慮するなど持続可能な事業の在り方を漆器・銅器組合や各関係施設と連携して考え、事業の継続に努めていきたい。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・コロナ禍ではあったが、感染リスクを低減し、4月より実習を進めることができています。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>5年デザイン学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>6年鋳物実習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中学校の取り組み例</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>児童生徒の作品を、保護者、市民に広めている例 (令和3年度 クラフト展にて:会場 御旅屋セリオ)</p> </div>			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
<b>8 祭行事・イベント振興事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった行事もあるが、無観客での一部実施や代替事業の実施により、伝統文化の保存・継承につなげることができた。

- ・八丁道おもしろ市 ※中止
- ・御印祭 ※弥栄節の町流しを中止
- ・高岡御車山祭 ※歴史文化の保存継承のため、山車一基の特別奉曳屋や山車の組立、解体の公開、高岡御車山会館にて各町による祭礼中の山車の演奏会を実施
- ・伏木曳山祭 ※無観客で昼の部のみ実施、夜の部「かつちゃ」は中止

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



高岡御車山祭



伏木曳山祭



二上射水神社築山行事



八丁道おもしろ市

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
9 コミュニティ助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	コミュニティ助成事業		
計画に記載している内容	地域の祭礼・年中行事などの地域文化への支援やコミュニティ活動等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
助成団体:5団体(令和3年度) 地域固有の祭礼・年中行事は本市の歴史的風致を構成する重要な要素のひとつである。 祭道具の修理・購入等を行うことで、地域祭礼行事が継承されていくとともに、本市の魅力がより一層高まると期待できることから、市内全域の歴史的風致の維持及び向上に寄与するもの。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



獅子頭(購入前)



獅子頭(新調)

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
10 前田利長墓所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助)		
計画に記載している内容	国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価: 保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業によって国指定史跡前田利長墓所の魅力向上に寄与する。			
※令和3年度は国庫補助不採択の影響により休止			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
※令和3年度補助金採択なし			
令和3年度実施実績			
			
墓所外区樹木剪定作業風景		墓所外区樹木剪定後	
			
墓所内区草刈り実施風景		墓所正面玉垣清掃作業風景	

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
<b>11 市内町家等再生事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は補助実績なし			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
※令和3年度は補助実績なし			
過去の修理実績			
			
佐野家住宅(主屋・茶室・1番の蔵・2番の蔵・調度蔵・味噌蔵・防火壁)		若井家住宅	
			
有藤家住宅		丸谷家住宅主屋・土蔵 (旧津野家住宅)	

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
<b>12 金屋鑄物師町交流館整備事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	金屋町において鑄物師町交流館を整備し、伝統的建造物群保存地区の景観を向上させるとともに、全国からの若手人材の受入、育成、定着を促進することにより地場産業の振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度	整備計画の策定		
平成29～30年度	建設用地取得、設計		
令和元年度～2年度	建設工事(研修棟)※R2.9.18供用開始		
進捗状況	※計画年次との対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
		周辺類似施設との関係性など施設のあり方の整理が課題であり、その進捗を踏まえながら整備を進めていく。	

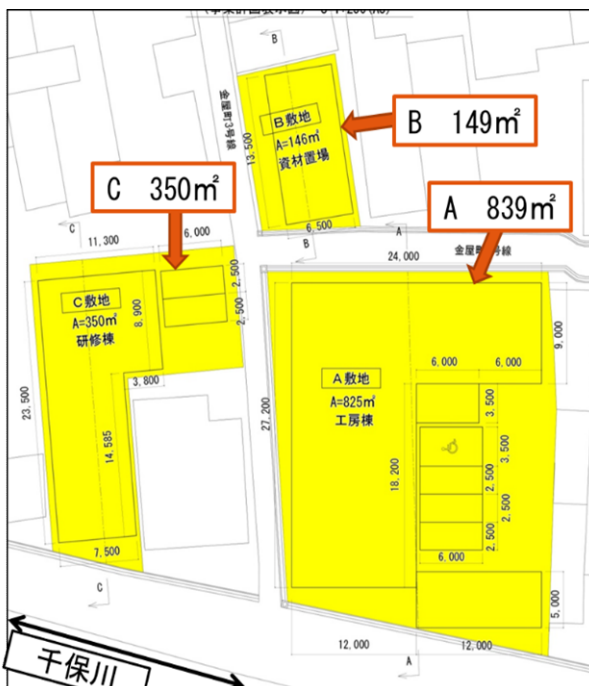
状況を示す写真や資料等



研修棟外観(下図C)



研修棟内部(下図C)



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
<b>13 高岡城跡保存整備事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(埋蔵文化財緊急調査費国庫補助)		
計画に記載している内容	史跡の高岡城跡について、保存活用計画及び整備基本計画に基づく保存整備事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価: 史跡「高岡城跡」の保存整備によって景観改善等に寄与した。			
令和3年度 ①本丸西端の樹木整理を実施。 ②高岡城跡リーフレットを活用したイベントの実施。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
本丸北西端の樹木整理後の様子			
			
高岡城跡リーフレットを活用したイベントの様子			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
<b>14 勝興寺公開活用事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(観光拠点整備事業費(文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業)国庫補助)文化財保存整備費補助金(富山県補助金)		
計画に記載している内容	重要文化財勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理が完了し、今後、富山県指定文化財勝興寺宝物修理を進めるほか、インバウンド対応等に向けた情報コンテンツ整備を図るもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価:富山県指定文化財「勝興寺宝物」の修理等によって重要文化財勝興寺の魅力向上に寄与した。			
令和3年度事業内容 ①勝興寺宝物展開催事業費補助 ②GO FOR KOGEI開催事業費補助 ③勝興寺建築フォーラム開催事業費補助			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
勝興寺宝物展「勝興寺のしつらい展」		「GO FOR KOGEI展」	
			
勝興寺建築フォーラム			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
<b>15 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成13年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(重要伝統的建造物群保存地区保存等事業費国庫補助)		
計画に記載している内容	山町筋伝統的建造物群保存地区及び金屋町伝統的建造物群保存地区、吉久伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価: 重要伝統的建造物群保存地区の修理・修景によって歴史的な町並みの保全に寄与した。			
令和3年度			
①【山町筋地区】旧森田家住宅土蔵修理工事(C-0030)			
②【山町筋地区】宮岡家住宅茶室修理工事(C-0036)			
③【金屋町地区】宗泉寺本堂[開山堂]修理工事(K-0035)			
④【金屋町地区】宗泉寺山門[脇塀]修理工事(K-0036)			
⑤【吉久地区】農庵[旧西田家住宅主屋]修理工事(Y-0008)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
⑤【吉久地区】農庵着事前			
			
⑤【吉久地区】農庵工事完了			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
16 県道岡・笹川線道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和12年度

支援事業名 都市構造再編集集中支援事業補助、県単独事業、市単独事業

計画に記載している内容 県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設替などの修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・関係機関との協議・調整を行いながら、全長880mの修景整備を実施するものである。

・定性的評価(実施内容)

平成29年度 測量設計業務委託を実施

平成30年度 関係機関との協議・調整を実施

令和元年度 市:電柱の修景化を実施(6箇所)  
 県:側溝改修工事(100m)と消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(110m)を実施

令和2年度 市:電柱(8箇所)と照明施設(4箇所)の修景化を実施  
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(331m)を実施  
 側溝改修工事(150m)を実施

令和3年度 市:電柱(2箇所)と照明施設(4箇所)の修景化を実施  
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(150m)と舗装工事(250m)を実施

・当該事業によって、道路景観の改善が図られるとともに、歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間の創出にもつながっている。

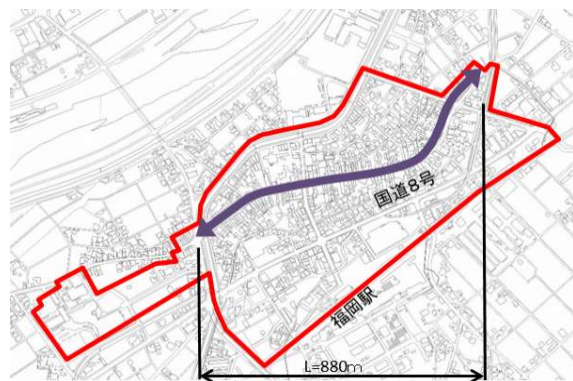
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧北陸街道福岡地区の町並み



事業箇所図



工事後(電柱、側溝、消雪管、舗装)の状況

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
17 勝興寺寺内町道路修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金

計画に記載している内容 伏木地区ストリート構想に則し、旧参道を中心とした道路修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度:基本計画作成にあたり地元住民の意見を参考にするため、まち歩きやワークショップを開催した。

・まち歩き・第1回ワークショップ(平成29年9月24日開催) ・第2回ワークショップ(平成29年10月29日開催)

平成30年度:実施設計のため現地測量や関係機関との協議を実施した。

令和元年度:

・修景整備内容について住民説明会を開催(令和元年7月18日開催)

・電柱移設(カラーポール化)5本・照明設置(電柱共架)5基

・第1回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン方針決定 — 令和元年8月28日開催)

・第2回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン決定 — 令和2年1月30日開催)

令和2年度:

・電柱移設(カラーポール化)3本・照明設置(電柱共架)5基

・デザインマンホール蓋設置10箇所

令和3年度:

・側溝整備

事業の実施により道路景観の改善及び歩行空間の創出が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



参道の現況



デザインマンホール蓋設置 10箇所

凡例	
<span style="color: green;">●</span>	デザインマンホール蓋
<span style="color: red;">●</span>	電柱移設(カラーポール化)及び照明設置(電柱共架)
<span style="color: red; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">○</span>	照明設置(電柱共架)のみ



評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
18 町並み保存・都市景観形成補助事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成重点地区等の区域内での修景事業に対する補助を行った。  
 令和元年度:修景補助3件  
 令和2年度:修景補助0件  
 令和3年度:修景補助0件  
 新型コロナウイルスの影響もあるが、少しずつ修景が図られており、良好な景観形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

住民協定地区(勝興寺寺内町通り)の修景事例



修景前



修景後

当該協定地区の景観づくりの基準に沿って、住宅の新築工事に対し助成を行った。

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
19 「赤レンガ建物」利活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(重要伝統的建造物群保存地区保存等事業費国庫補助)

計画に記載している内容 山町筋重要伝統的建造物群保存地区にある旧高岡共立銀行について、伝統的建造物として調査等を行い、保存及び活用を図るもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度で耐震診断・耐震補強計画、保存活用計画を策定する。  
 令和3年8月5日(木) 第2回保存活用計画検討委員会(リモート会議)  
 令和3年11月29日(月) 第3回保存活用計画検討委員会  
 令和3年12月 耐震補強計画策定  
 令和4年2月22日(火) 第4回保存活用計画検討委員会  
 令和4年3月 保存活用計画策定

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

令和3年度に策定した保存活用計画を基本として、令和4年度以降に利活用方策の具体化へ向け市民や事業者の意見聴取を実施する。

状況を示す写真や資料等

旧高岡共立銀行保存活用計画検討委員会

委員名簿

	氏名	所属・役職
委員長	後藤 治	学校法人工学院大学 理事長
委員	長谷川 直司	国土交通省国土技術政策総合研究所住宅研究部 研究官 国総研シニアフェロー
委員	上野 幸夫	専門学校職藝学院 教授
委員	野田 明宏	合同会社住まい・まちづくりデザインワークス 代表社員



令和3年2月16日(火)  
第1回旧高岡共立銀行保存活用計画検討委員会

オブザーバー



	氏名	所属・役職
	大石 崇史	文化庁文化財第二課伝統的建造物部門 文化財調査官
	越前 慶祐	富山県教育委員会生涯学習・文化財室 副主幹



令和3年11月29日(月)  
第3回旧高岡共立銀行保存活用計画検討委員会

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
<b>20 前田家関連史跡調査事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(埋蔵文化財緊急調査費国庫補助)		
計画に記載している内容	守山城跡の史跡範囲の確認等を目的とした詳細調査を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価: 守山城跡の調査によって地域資源の発見に寄与した。			
令和3年度 ①史料調査 ②縄張調査			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">史料調査の様子</p>			
 <p style="text-align: center;">縄張調査の様子</p>			

評価軸③-21 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
----	--------	-------

21 ミラレ金屋町開催事業(旧金屋町楽市開催事業)	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------------	-------	---

事業期間 平成30年度～(ミラレ金屋町開催事業)

支援事業名 市補助事業

計画に記載している内容 高岡鑄物発祥の地であり、伝統的な家並みが残る金屋町において、産官学が連携し、金屋町の魅力発信、移住・定住促進事業と、伝統文化やものづくり体験等を組み合わせた「ミラレ金屋町」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度の「ミラレ金屋町」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から例年のイベントから、移住希望者をターゲットとしたツアー実施に変更することで、街の魅力を発信した。今後はイベントの他、今回実施したツアーをモデルとした新たな取組みを継続的に展開し、まちの賑わいづくりを目指す。

【開催時期】3月20日

【実施内容】

①対面ツアー・リモートツアーの実施

②街なかギャラリーの企画

③金屋マップの作成

④空家ツアーの計画・空家パンフレットの作成

地元においてもイベントの継続を望む声が多くあった。今後は、コロナ禍においてもイベントがより良いもの、また、充実したものになるよう、大学、自治会と共に実施内容の検討を重ねてまいりたい。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施にあたってはコロナ禍における、参加者を含めた安全性を考慮した開催時期、内容を引き続き検討していきたい。
--	---

状況を示す写真や資料等

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
22 獅子舞大競演会開催事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	令和3年で45回の開催を迎えた獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間に亘って楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々が中心市街地を訪れており、春の一大イベントとして開催している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度の獅子舞大競演会は新型コロナウイルスの拡大に伴い規模を縮小し、屋内の会場で客数を200人に限定して開催した。一般応募では定員の約1.5倍の申し込みがありイベントの開催を待ち望む声が多くあった。今後のコロナ禍においてもイベントをより良いものにできるよう検討してまいりたい。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症収束の見通しがつからないことから、今年度は参加団体、入場者数を制限することを余儀なくされた。来年度以降も、コロナ禍でのイベント開催について、よりよい方法を模索していく必要がある。		

状況を示す写真や資料等



平米小学校の演舞



観客席の様子



舞獅道一煌流の演舞

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
23 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	土蔵造りの伝渡欧的建造物が集積する山町筋で、街並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬) ②山町筋の天神様祭(1月下旬) ③山町筋のひなまつり(3月中旬)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
例年8月下旬に開催していた「高岡山町筋土蔵造りフェスタ」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、開催を見送った。1月22日(土)23日(日)の「山町筋の天神様祭」、3月12日(土)13日(日)の「山町筋のひなまつり」はどちらも店頭での展示のみを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の観点より各行事が縮小または中止となった。来年度以降も、コロナ禍でのイベント開催について、よりよい方法を模索していく必要がある。		

状況を示す写真や資料等

山町筋の天神様祭 ポスター



山町筋のひなまつり ポスター



評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
24 「高岡再発見」プログラム事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡市内の小学校、義務教育学校、特別支援学校に在籍している1～4年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・今年度、「国泰寺」のエリアポイントを追加した。今年度も「日本遺産」等の歴史的建造物や場所を紹介した冊子を配布し、児童の関心を高めるとともに、高岡の歴史文化に関する事業間の連携を図り、郷土を愛する心を育む教育の充実を図っている。 ・歴史の薫る町並みや建造物31カ所のスタンプと高岡市ならではの祭り(8つ)の内、1カ所をレポートにまとめ、合計32のスタンプをカードに収集する。32のスタンプの内、16カ所分のスタンプを収集すると認定バッジを授与する。 ・2月の集計結果により、1・2年は16%、3・4年は15%の達成率であった。新型コロナウイルス感染拡大のため、昨年度と今年度は減少している。定例教育委員会より、「減少しているが、高岡のよさを学ぶよい事業なので継続してほしい」との意見を受けている。来年度は、事業の参加を各学校に呼びかけ、ふるさとへのよさを実感し、高岡に誇りと愛着の心をもつ児童の育成に努めたい。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・今年度も、コロナ禍の感染リスクを低減させるため、スタンプを使用せず、スタンプシートを使用した。期間は例年通り4月からのスタンプラリーをスタートしている。		



スタンプラリー配布用カード



スタンプラリー実施要領

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
<b>25 新たな芸術・文化創造推進事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業 地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	文化創造都市高岡の実現に向けた4つの戦略(知る、創る、つなげる、伝える)に基づく事業を実施することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信につなげる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市民一人ひとりが高岡の文化を知り、文化に親しむ機会を創出することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信に取り組んだ。			
【実施内容】			
・「市場街」の開催(会場への来場者数:9,623人、オンライン番組総再生回数:26,441回(令和4年3月31日現在)、合計36,064人・回)			
現地開催及びオンライン配信により、クラフトの展示や販売、伝統産業に携わる方等の対談などのクラフトに関する総合的なイベントを開催。リアルとオンライン双方での開催により、市民のほか、県外の方にもものづくりのまち高岡を発信できた。			
・文化創造都市高岡ウェブサイトの運営			
高岡市の歴史・文化に関するニュース記事発信(R4.3月末時点PV数30,960PV)			
PV数はウェブサイト開設後の最高値となった。高岡で開催される展覧会やイベントを紹介するニュース記事や、高岡で活躍したり、つながったりする「ヒト」に焦点を当てたインタビュー記事を継続的に掲載したことにより、PV数が増加したと思われる。			
・キャラクターを活用した「文化創造都市高岡」PR事業			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



市場街の開催



文化創造都市に関する情報発信  
(ウェブサイト運営)

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
<b>26 日本遺産魅力発信推進事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の日本遺産のストーリー(「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡-人、技、心-」及び「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」)を通して、歴史的魅力に溢れた文化財群の国内外に向けた普及啓発や情報発信を行う。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 文化庁の日本遺産総括評価において高岡市が重点支援地域の選定を受けた。策定した「日本遺産を通じた地域活性化計画」(R3～5年度)に沿って事業を進めていく。特に、北部エリアの文化財の魅力発信に注力する。 【実施内容】 ・勝興寺竣工式(4月)において、PRブースを設置し来場者にパンフレット等を配布 ・日本遺産サミットin小松(11月)でPRブースを設置し、錫のアクセサリ体験によるPRを実施 ・高岡駅にARマーカ付き日本遺産タペストリーを設置 ・日本遺産のまちPRカードを制作し、駅や文化施設に設置 ・吉久の重伝建選定に合わせ、まち歩きマップを制作 ・TAKAOKA発瓦版(ダイジェスト版)を制作 ⇒中心市街地のほか、北部エリアに焦点を当て、日本遺産の魅力発信を行った。特に、瓦版(総集編)では、高岡市の2つの日本遺産ストーリーを同時に発信することで、観光客の周遊エリアを中心地から北部までに拡大するよう取り組んだ。 進捗状況 ※計画年度との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) ■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



勝興寺竣工式におけるPRブース設置



高岡駅PRタペストリー、日本遺産PRカード



日本遺産サミットin小松



評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
27 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 ユネスコの無形文化遺産に「高岡御車山祭」が登録されたことを契機に、5月1日を「高岡の歴史文化に親しむ日」とし、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の郷土を愛する心を育む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内小・中・特別支援学校の児童生徒が、俳句、短歌を作成する活動を通じ、高岡の歴史文化の魅力を見直し、豊かな感性と郷土愛を育むことにつながった。

【定量的評価】校内選考を通過した優秀作品数として、俳句の応募件数:225点 短歌の応募件数:102点 表彰数は、最優秀賞:各1点、優秀賞:各2点、佳作:各6点

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和3年度「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する応募作品 審査結果(入賞者)

部門	学校名	氏名	作品	結果
俳句	西条小	6 東 蓮華	暮出し エンヤシャッシャイ 夏の夜	最優秀賞
	成美小	4 高野 敬	夕やけの 音間に女音 波光る	優秀賞
	徳町小	5 山下 蒼真	げんか山 鏡灯ゆれる いざかっちゅ	優秀賞
	穴塚小	5 南野 夢愛	「コロナなんか」 ひとりぼっちの 山車見上げる	佳作
	川原小	6 鍋谷 心花	神楽屋の 風にたんぽぽの わたげのる	佳作
	南条小	4 結城 希美	朝やけに 電車が映える 雨境	佳作
	太田小	5 小栗 悠歩	春のじ 桜谷古漬 降り道	佳作
	太田小	4 坂本 歩夢	げんか山 いやきの声が ぶつかって	佳作
	福岡小	6 石浦 結	雲を編み なべきき返る 母の日に	佳作
	短歌	高陵中	2 小栗 真結	温かく ごつごつ厚い 祖父の手が 受け継ぐ鼓動 高岡弘真
五位中		1 河村 朋花	修理終え 見上げる屋根に 守り継 支えし親に 未来たくして	優秀賞
国吉義持		9 原田 悠明	鬼山の 揺れる花笠 華やかに 優雅な獅子 輝く引き手	優秀賞
成岡西中		2 國貞 心琴	御車山 掛け声共に 山動き 見ている人の 心も動く	佳作
南室中		3 寺井 葉優	水溜に 映る薄紅 美しき 城ありし日と 愛わらぬ閑花	佳作
志貴野中		3 村田直文朗	万葉人(せんじん)の 生きし言葉 時を越え 心をつなぐ 今と昔を	佳作
伏木中		2 小泉 慧太	窓の下 笛の音色が 響く町 いやさいやきの 賑いよ届け	佳作
枝野中		2 中沖 唯奈	如明で 赤く輝く 御々の旗 静かな夜に 響く笛の音	佳作
五位中		3 石田 真帆	銅鑼の 風鈴奏でる 駅の風 イヤホンはずし 支持つ六時	佳作



評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
28 万葉歴史館展示室魅力向上事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和3年度		
支援事業名	地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	新元号「令和」が万葉集を典拠に決定されたことによる万葉集への関心の高まりを契機とし、万葉歴史館の常設展示室及び企画展示室のリニューアルを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
万葉歴史館展示室のリニューアルによって、入館者の万葉集や万葉ゆかりの地に対する興味を向上させ、市北部エリア全体の周遊性の向上に寄与した。			
小中学校の校外学習での来館が増加するなど、万葉愛好家だけでなく幅広い世代から万葉集の「学びの場」として利用いただいた。また、多目的利用が可能となった万葉体感エリアでは、コンサートが開催されるなど、交流の場としても活用された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
万葉体感エリアの様子			
			
万葉学習エリアの様子			

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況

29 越中国府関連遺跡調査事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(埋蔵文化財緊急調査費国庫補助)

計画に記載している内容 越中国府関連遺跡における、古代・中世から近世に至るまでの重層する歴史の調査・研究を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 越中国府関連遺跡における調査・研究によって本市の歴史的風致の維持及び向上に寄与した。

令和3年度

- ①個人住宅等の開発における越中国府関連遺跡の試掘調査を行った。
- ②越中国分寺の仏像移動

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



試掘調査の様子



越中国分寺の仏像移動の様子

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

30 ストリート整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	--	---

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 たかおかストリート構想及び伏木地区ストリート構想で位置付けられているゾーンやルートを対象に、最新技術等を用いて、その地域の歴史や文化を体感できるような取組を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伏木地区でARを用いて歴史的名所を歩いて回る企画に取り組んだことにより、伏木地区の歴史的な魅力を体感できるとともに回遊性の向上につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない







状況を示す写真や資料等



パンフレット

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
1 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	保存や活用に関する具体的な整備に実施については、専門家や関係機関に意見を聞きながら計画的に進めていくものとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存や活用に関する具体的な整備や実施にあたっては専門家や関係機関と緊密に連携しながらの取組を進めている。重要有形民俗文化財高岡御車山の修理にあたって、祭礼行事で使用する用具としての側面だけではなく、高岡の技術の粋を結集した美術工芸品の側面についてどのように修理方針を決定・管理するかについての専門家の意見を伺いながら総合的に判断している。また、重要伝統的建造物群保存地区保存修理にあたって文化庁・富山県と緊密に連携しながらの修理・修景方針を決定するとともに専門家の意見を伺いながら実施するなど、事業実施を通してノウハウの蓄積に努めている。 また、民間事業者等との協定の締結により、地域に眠っている解読されていない資料の調査・収集・研究に取り組んでいくこととしている。 なお、令和3年度の事業内容は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高岡御車山保存修理事業(P5参照)</li> <li>・次世代型ものづくり人材育成事業(P7参照)</li> <li>・文化財等修理補助事業(P9参照)</li> <li>・ものづくり・デザイン科推進事業(P11参照)</li> <li>・前田利長墓所整備事業(P14参照)</li> <li>・高岡城跡保存整備事業(P17参照)</li> <li>・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P19参照)</li> <li>・前田家関連史跡調査事業(P24参照)</li> <li>・越中国府関連遺跡調査事業(P33参照)</li> <li>・菅笠保全対策事業(P6参照)</li> <li>・創業・事業承継支援補助事業(P8参照)</li> <li>・管栽培調査事業(P10参照)</li> <li>・コミュニティ助成事業(P13参照)</li> <li>・金屋鋳物師町交流館整備事業(P16参照)</li> <li>・勝興寺公開活用事業(P18参照)</li> <li>・「赤レンガ建物」利活用事業(P23参照)</li> <li>・獅子舞大競演会開催事業(P26参照)</li> </ul>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業			
			
高岡御車山保存修理事業		菅笠保全対策事業	
			
次世代型ものづくり人材育成事業		文化財等修理補助事業	

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
<b>2 文化財の修理(整備)に関する具体的な計画</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 登録有形文化財(建造物)及び未指定建造物のうち歴史的風致の維持に資するものである場合、歴史的風致形成建造物に指定したうえ、保存修理や美装化等に要する費用に対する各種補助制度を積極的に活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 歴史的風致形成建造物の指定は令和3年度時点で9件あり、そのいずれも必要な修理(整備)を施し公開に供しており歴史的風致の維持に寄与している。令和3年度の事業内容は以下のとおり。  
 ・市内町家等再生事業(P15参照)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



五福町神明社本殿



大手町神明社拝殿



旧秋元家住宅



佐野家住宅(主屋・茶室・1番の蔵・2番の蔵・調度蔵・味噌蔵・防火壁)



若井家住宅主屋(旧中越銀行)



高岡商工会議所伏木支所(旧伏木銀行)



有藤家住宅



旧伏木測候所



丸谷家住宅主屋・土蔵(旧津野家住宅)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
3 文化財の保存・活用を行うための施設に関する具体的な計画		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定した施設に対し、公開活用を図るとともに、ガイダンス等の情報発信の機会を提供するよう取組を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定にあたっては公開(外観:常時/内部:随時)することを条件としており、令和3年度時点で指定している9件についてはいずれも公開協定を締結している。なお、公共施設の歴史的風致形成建造物(旧秋元家住宅・旧伏木測候所)についてはガイダンス機能を有して情報発信に努めている。ストリート整備事業において、伏木気象資料館・伏木北前船資料館では、単なる解説だけでなく現地のGPSと連動したまちあるきによって波及的に興味・関心を高める工夫をこらしている。また、歴史的風致形成建造物に指定している佐野家住宅では現在レストランとして活用する計画が進められている。

令和3年度は以下の事業をととして、歴史的風致形成建造物の公開・活用に努めている。

- ・「高岡再発見」プログラム事業(P28参照)
- ・ストリート整備事業(P34参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「高岡再発見」プログラム事業



ストリート整備事業

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
<b>4 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画</b>	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・景観法、都市計画法及び市条例等と連動し、良好な景観の形成に努める。
- ・「たかおかストリート構想」と「伏木地区ストリート構想」を策定しており、今後も取組を進めていく。
- ・高岡市新サイン計画に基づき必要に応じて整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財をとりまく周辺環境の保全は、該当の文化財の価値や魅力に影響する重要な要素であり、景観法・都市計画法及び市条例に基づき屋外広告物の適正化や伝統的な形式を持つ建造物等の規制・誘導による保全を図るとともに、道路の美化化や街路灯の整備といった周辺環境の整備を推進している。県道岡・笹川線道路整備事業では、県と協働で旧北陸街道沿いの町並みにあうよう電柱と照明施設の修景化や側溝改修、消雪配管リフレッシュ工事を進めている。勝興寺寺内町道路修景整備事業では、旧参道を中心とした道路修景事業として、電柱移設(カラーポール化)、町並みにあつた照明設置、デザインマンホール蓋設置、側溝整備を行い重要文化財勝興寺のある寺内町の良好な景観の形成を図った。

令和3年度は、以下の事業を実施し、良好な景観の形成に寄与した。

- ・県道岡笹川線道路整備事業(P20参照)
- ・勝興寺寺内町道路修景整備事業(P21参照)
- ・町並み保存・都市景観形成補助事業(P22参照)
- ・ストリート整備事業(P34参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



県道岡・笹川線道路整備事業



勝興寺寺内町道路修景整備事業

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
<b>5 文化財の防災に関する具体的な計画</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の現状に鑑み、その文化財の性質に応じた防災に関する事項を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
災害による文化財の損失に対して、訓練のみならず防災対策の徹底に努めることが被害を生み出さないこと及び被害を最小限に抑えることにつながるものであるという意識のもと、その文化財の性質に応じた防災機能の向上に努めている。毎年1月26日の文化財防火デーを中心として本市においても各建造物等を対象として防災訓練を実施している。 令和3年度は以下の事業の実施を通して、その文化財の性質に応じた防災機能の向上に努めており、広く防災意識の高揚に寄与した。 【第6章関係】 ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P19参照) 【第5章関係】 ・瑞龍寺仏殿ほか2棟に係る防災施設の改修及び強化(令和2年度から令和3年度) ・文化財防火デー特別消防訓練の実施(令和4年1月16日～29日) 実施文化財等 国宝 瑞龍寺(1/26) 重要文化財 勝興寺(1/23)、氣多神社(1/22)、武田家住宅(1/16)、佐伯家住宅(1/23) 市指定文化財 戸出御旅屋の門(1/22) 重要伝統的建造物群保存地区 3地区(山町筋(1/29)、金屋町(1/23)、吉久(1/23))			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業</p> <div style="text-align: center;">  <p>文化財防火デー特別消防訓練(瑞龍寺)1/26</p> </div>			

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
<b>6 文化財の普及・啓発に関する具体的な計画</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財の保存を前提とし生きた歴史を体験できるプログラムの構築を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の公開・活用のみならず、文化財の公開による普及・啓発にあたっては、本市固有の祭礼行事などの機会に合わせた情報発信の充実に努めている。学校における郷土学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境・文化財・景観等について幅広い視点で学ぶ機会の創出に努めているとともに、あらゆる世代の市民に対し、祭礼行事等への参加機会の提供に努め、まちの関心や愛着を豊かに育んでいくことを目指している。

令和3年度は以下の事業を通して文化財に関する様々なテーマを生涯学習の場で市民が気軽に学べる機会の提供に寄与している。令和3年5月に行われた高岡御車山祭及び伏木けんか山祭では、地元ケーブルテレビでの中継のほかインターネット動画サイト、YouTubeでの公開を通して幅広い世代の市民に向けた視聴を促した。また、小・中学生の学習用端末での利用を呼び掛けるなど、コロナ禍における祭礼行事の取組みとしても新しい試みとなった。このほか、「高岡再発見」プログラムでは、日本遺産のストーリーと合わせたことにより、歴史的建造物等を巡るスタンプラリーに厚みをもたせた工夫をしている。

- ・祭行事・イベント振興事業(P12参照)
- ・ミラレ金屋町開催事業(P25参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P26参照)
- ・土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P27参照)
- ・「高岡再発見」プログラム事業(P28参照)
- ・新たな芸術・文化創造推進事業(P29参照)
- ・日本遺産魅力発信推進事業(P30参照)
- ・「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業(P31参照)
- ・万葉歴史館展示室魅力向上事業(P32参照)
- ・ストリート整備事業(P34参照)

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



祭行事・イベント振興事業



日本遺産魅力発信推進事業

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
<b>7 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 埋蔵文化財包蔵地内における発掘調査の記録を報告書として刊行し、記録保存を行うとともに、調査成果や出土品等を高岡市埋蔵文化財センターで公開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は埋蔵文化財の取扱いに関して以下の事業を実施している。調査成果を報告書として刊行・記録保存するとともに高岡市埋蔵文化財センター常設展「発掘された高岡」で公開・活用に供している。また、万葉歴史館の企画展示室が万葉学習エリアにリニューアル越中国府関連遺跡の展示コーナーを設けこれまでの発掘調査の成果を展示している。

- ・前田利長墓所整備事業(P14参照)
- ・高岡城跡保存整備事業(P17参照)
- ・前田家関連史跡調査事業(P24参照)
- ・越中国府関連遺跡調査事業(P33参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



前田家関連史跡調査事業



越中国府関連遺跡調査事業

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

8 各種団体の状況及び今後の体制整備の具体的な計画

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

- ・市民有志や文化財の保存団体による、文化財の保存活用に関わる取組を支援する。
- ・市民や専門家、行政の協働による検討の場が設置されることが望ましい。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

官民が連携した文化財の保存・活用において、特に未指定文化財については、市民の意見や発想のもと、市民が主体となってその保存と管理にあたっていくことが望ましく、市域全体に広がりをもせる関連文化財群の特性を踏まえ、その仕組みづくりのための支援充実を図っている。重伝建地区に選定されている吉久地区ではNPO法人主催のもとワークショップが行われ地域住民主体の保存・活用に関する意識の醸成が図られている。

令和3年度は以下の事業を実施し、市民有志や文化財の団体による、文化財の保存・活用に関わる取組み支援の充実を図った。


- ・ミラレ金屋町開催事業(P25参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P26参照)
- ・土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P27参照)
- ・新たな芸術・文化創造推進事業(P29参照)
- ・日本遺産魅力発信推進事業(P30参照)


進捗状況 ※計画年度との対応


実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等







ミラレ金屋町開催事業

獅子舞大競演会開催事業

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道		
	評価対象年度	令和3年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
木舟町の車輪美しく	R3.4.2	北日本新聞
吉久に重伝建の看板	R3.4.3	富山新聞
勝興寺 令和の雄姿	R3.4.10	北日本新聞
重要文化財勝興寺「平成の大修理」完工記念	R3.4.11	読売新聞
華やか衣装 勝興寺に彩り	R3.4.11	北日本新聞
勝興寺 荘厳に復活	R3.4.13	読売新聞
2年ぶり「にらみ獅子」勇壮	R3.4.19	北日本新聞
2年ぶり築山行事	R3.4.24	富山新聞
赤レンガの銀行 民間活用へ意欲	R3.5.1	富山新聞
特別巡行厳かに	R3.5.2	読売新聞
輝く花山車 高岡・伏木曳山	R3.5.15	富山新聞
開祖しのぶ 尺八の音色 国泰寺 開山忌法要	R3.6.3	北日本新聞
魅力・課題話し合い 高岡・吉久の将来考える	R3.7.25	北日本新聞
動画で高岡の魅力発信	R3.7.31	富山新聞
伝統の音 菅笠 スゲ天日干し	R3.8.3	富山新聞
梅花の宴 高岡に咲く	R3.10.3	読売新聞
勝興寺で御満座法要 デカローソク親鸞聖人しのぶ	R4.1.16	富山新聞
奉幣使出立の儀 約30年ぶり復活	R4.3.27	富山新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。今年度は、勝興寺の「平成の大修理」が完了したこともあり歴史や文化への注目が多く集まったと考えられるので歴史的風致維持のより一層の向上に繋げていきたい。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
<p>北日本新聞 令和3年4月10日</p> <p>大修理完工 記念ライトアップ</p>  <p>大伽藍 幻想的な輝き</p> <p>高岡市伏木古町の重要文化財・勝興寺で、令和3年4月10日、大修理完工記念のライトアップが行われ、市民らから注目を集めた。この日は、大修理が完了したことを記念し、寺内をライトアップし、幻想的な輝きを放ち、市民らから注目を集めた。この日は、大修理が完了したことを記念し、寺内をライトアップし、幻想的な輝きを放ち、市民らから注目を集めた。</p> <p>勝興寺 令和の雄姿</p> <p>高岡市伏木古町の重要文化財・勝興寺で、令和3年4月10日、大修理完工記念のライトアップが行われ、市民らから注目を集めた。この日は、大修理が完了したことを記念し、寺内をライトアップし、幻想的な輝きを放ち、市民らから注目を集めた。</p>		

<b>評価対象年度</b>	<b>令和3年度</b>
<b>・法定協議会等におけるコメント</b>	
コメントが出された会議等の名称:第16回高岡市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:令和4年2月17日(木) 午後2時10分~午後3時20分	
<p>○歴史まちづくり計画の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「菅笠保全対策事業」と「菅栽培調査事業」が統合されたこととあるが「歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由」では「菅栽培調査事業」の内容が抜けているので記載するよう検討していただきたい。</li> <li>・生涯学習・文化財課から文化財保護活用課に名前が変更したのは文化財保護法が改正されたことに伴い活用に関する体制ができたからだと理解しているが実際にどう変わったのか、また、変わったことでどのような効果があるのかについて、もし記載できるのであればそのことも記載した方が良いのでは。</li> </ul> <p>○歴史まちづくり計画の進行管理・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定性的・定量的評価の部分において実施した内容に対する評価まで記載していない事業があるので実施内容に対する評価まで記載するようにしていただきたい。</li> <li>・菅栽培調査事業の評価について、計画通り進捗しているとなっているが現状は進捗しているとは言い難い状況にあると思われるので評価の記載は現在の状況を踏まえて記載した方が良くと思う。</li> <li>・菅が特定作物に指定されているなら補助を活用できるのではないかと。</li> <li>・評価シートの写真について、古い写真があるので新しい写真を載せるようにしていただきたい。他の写真についても新しい写真があれば新しい写真に変えていただきたい。</li> <li>・評価項目ごとに再掲となっている事業について、いくつか写真があるなら評価項目ごとに違う写真を使うように工夫した方が良く思う。</li> <li>・インパクトのある写真を使ったりキャッチフレーズを使ったりして市民の方に興味を持ってもらえるように工夫してみると良いと思う。</li> <li>・越中国府関連遺跡については、高岡の魅力が詰まっていると思っているので過去の調査も含めて今後の調査では高岡の魅力が高まるように取組を進めてほしい。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡では旧北陸街道の道路修景については取り組んでいるが建造物も含めた町並み保存については取り組んでいないように見える。福岡の町並みについては早急に保存に取り組む必要があると思っているので今後どのような方針で進めていくのか。</li> <li>・福岡の町並みなどの未指定文化財について、まず保存に先立ち重要になってくるのが記録することである。ドローンを用いた記録など手法が多様化しているのでまずは町並み全体の記録保存の実施を検討してほしい。</li> <li>・近年は昭和から近代の建造物についても文化財としての価値を認める動きが全国的に広がっている。このように古代や中世だけでなく近代にも目を向けて取り組んでほしいと思うが高岡市としてはどう考えておられるのか。</li> </ul> <p>○今後の対応方針</p> <p>○変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「菅笠保全対策事業」と「菅栽培調査事業」の統合に伴う「歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由」の記載内容についてはご指摘を踏まえて修正することとしたい。</li> <li>・生涯学習・文化財課から文化財保護活用課に再編されて文化財の単独課になったことで、より文化財の保存と活用に対応する専門業務に対応できるように体制が構築されたものと認識している。ご指摘を踏まえて記載内容を検討したい。</li> </ul> <p>○進行管理・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定性的・定量的評価の実施内容に対する評価の記載については再度評価の記載内容を見直し修正することとしたい。</li> <li>・「菅栽培調査事業」の評価の記載内容はご意見を踏まえて修正することとしたい。</li> <li>・菅は特定農作物に指定されていないが国の補助である産地交付金を活用し事業に取り組んでおり今後も各種補助を活用しながら取り組みを進めていきたい。</li> <li>・評価シートの写真は再度確認し新しい写真にできるものは修正することとしたい。</li> <li>・再掲事業の写真は確認し修正できる箇所は修正することとしたい。</li> <li>・市民に興味を持ってもらえるようにご意見を踏まえて進めていきたい。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡の旧北陸街道沿いについては景観形成重点地区に指定しており、地区内において建造物を改修する際に景観に配慮した改修を行う者に対しては補助金を出す支援を行っている。また、建造物単体として、所有者の意向及び調査を踏まえて歴史的風致形成建造物に指定したうえで保護する措置を図ることは可能であるが、そうした動きが現時点で町並み全体にまで至っていない。</li> <li>・町並み全体の記録保存についてはご意見を踏まえて検討を進めたい。</li> <li>・登録有形文化財に指定するための要件の一つに50年以上経過している必要があると言われており、近代の建造物についてもこれに当てはめて判断することはできる。ただ、懸念として登録には所有者の責任において調査等を行う必要がありそれには所有者の建造物に対する理解が必要となってくる。このことを踏まえて取り組みを進めていきたい。</li> </ul>	